

# 使用上のお願い

## ■ お買い上げ時の内蔵電池の残量について

- お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていませんので、充電してからお使いください。(P.38)

## ■ 車内で使用するときのお願い

- 安全のため、走行中は本機の機能・操作が一部制限されます。必ず安全な場所に停車してご使用ください。(ワンセグ・SDビデオ再生は、走行中には映像が表示されず、音声のみとなります。)
- 安全のため、走行中・停止中に関わらず、車内で使用するときには本機のカメラ機能は使用できません。
- 本機では走行/停止判定にGPSを使うため、GPS未受信時や発進停止の繰り返し時には正しく判定ができません。走行中でも操作や映像視聴ができてしまう場合があります。また、停車中でも一部の操作ができなかったり、映像視聴できない場合があります。
- シガーライター電源で使用するときは、エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。(アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください。)

## ■ 液晶ディスプレイについて

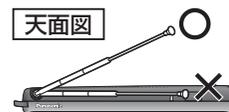
- 傷がつきやすいため、先端が固いもの(爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。
- 液晶ディスプレイを強く押さないでください。変色する場合があります。
- 液晶の保護シートを使用する場合は、必ず別売の低反射シート(CA-ZND050D →P.164)を使用してください。ほかの保護シートを使用すると、正常に動作しないおそれがあります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 本機を使用しないときは、直射日光があたらないようにしてください。(車用のサンシェードなどをお使いください。)
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99%以上の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。また、本機でワンセグを録画する際は、これらの点は録画されません。

## ■ カメラについて

- レンズを汚れた手で触らないでください。
- 十分な明るさが得られない場所では、撮影した写真が暗くなる場合があります。

## ■ GPSアンテナ(本体の天面に内蔵)について

- シールなどを貼ると、GPS信号が受信できなくなる場合があります。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスによっては、電波がさえぎられ、現在地が正しく表示されない場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- GPSアンテナの上にワンセグ用ロッドアンテナを近づけないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなる場合があります。



## ■ 磁気について

- 本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - ・磁気を近づけると誤動作を引き起こす可能性があります。
  - ・歩行モード時は電子コンパスを使用するため、正確な方位を表示できなくなる場合があります。
- 磁気カードなどを車載用吸盤スタンドに近づけないでください。
  - ・キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

## ■ 受信妨害について

- 本機は強い電波を送受信する機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)からなるべく離れた場所に取り付けてください。また、携帯電話は、なるべく本機から離してお使いください。これらの機器の近くで本機を使用すると、下記のようなことが起こる場合があります。
  - ・本機の映像や音声が乱れる
  - ・現在地を正しく表示できない
  - ・ワンセグが受信しづらくなる
  - ・本機の近くで使用している機器(上記など)が正常に動作しない
- 動作中のテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで、本機を使用しないでください。本機のワンセグやGPSの受信状態が悪くなったり、テレビ、ラジオなどの受信状態が悪くなる場合があります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

## ■ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク